

園芸学科通信

第20号



レイカディア大学・米原校

選択講座

■書の家庭菜園づくりと病虫予防除

講師：松原 治夫氏

ゴールデンウィークが終わった5月最初の選択講座は、松原講師による「書の家庭菜園づくりと病虫害防除」を受講しました。

5月8日午前中の授業の開始は、松原講師が実践している減農薬、糸を張る方法、「直播の稲作り」の説明から始まりました。その後、春から夏に向かう季節に行う野菜づくりに関して、疑問点や困っている点を質問し答える形で進められました。最初の質問は、スズメアカリでした。スズメアカリの原産地は南アフリカとされ、エジプトによる栽培は4000年以上と、上り前の壁面に描かれていることから裏証されている。土づくりや植え付け方法、特に一番知れたかった「適心や整枝の仕方」をはじめ、肥料のやり方やアス刈草など、また、フンターを利用した栽培方法を学びました。引き続き「メロン」「トマト」「キュウリ」「ナス」など真疑態等の形で進められ、実践を重ねた内容となりました。次に、病害虫対策として、馬酔木を煮立てる、スズメアカリやゴキブリの駆除、タバコを薄めることと、湯辛子と酢を利用した抽出液による害虫駆除方法など、夏に向かう野菜の栽培ポイントを中心に学びました。



■校外学習「高取山ふれあい公園」

39期生が合同で地域活動体験

5月30日の選択講座に続き、5月30日は必修講座「ポラントピアの日」と地域活動体験学習を実施しました。この地域活動体験学習については、その目的として、レイカディア大学では地域活性化の担い手として、地域活動の推進に努めています。

支援することを設定的目的のひとつとして、その具体的なプログラムとして、卒業後の地域活動をより確かなものにするため、地域との関わりや繋がりを自らつくる体験「地域活動体験学習」を実施しています。また、在学中に地域活動に取り組みを身につけることを目的としています。

この日の地域活動体験学習は、多賀町藤瀬にある「高取山ふれあい公園」で実施しました。校外での学習時には自動車による乗りを実施していますが、受講者は9時30分に「高取山ふれあい公園」に集合し出欠確認を行いました。その後、準備体操を行なって作業に掛かりました。



作業は学科ごとに分かれて行ないました。園芸学科は、管理事務所近くの芝広場を中心に、繁茂した樹木の近接や機械を使って除草作業を行いました。刈り取る者、剪定した枝や葉の後片付けをする者などに分かれ、午前中の作業は順調に終わることができました。



芝広場で機械による除草作業



芝広場で機械による除草作業



その後、作業場所を人口ゲレンデに移し老朽化の破損したヒールマットの修復作業を行い、この日の校外学習を終了しました。

選択講座・校外学習

■滋賀県消防学校での剪定実習

講師：北村 正隆氏

園芸学科39期生が受講している後期選択講座の環として、校外学習を実施しました。実施した日は、5月11日(金)で研修場所は、東近江市神郷町にある「滋賀県消防学校」で、講堂に恵まれ、蒸し暑さを感じたこの日は、剪定作業を行う北村講師をはじめ、サポート隊事務局、39期生のみんは水分を補給しながらの剪定作業でした。作業をする滋賀県消防学校は、昭和35年に消防職員、消防団員、その他消防関係職員に対する教育訓練の実施を目的として大津市下阪本町に創設されました。そ

の後、昭和60年4月、現在の東近江市神郷町に移転し現在に至っています。この日の作業は、過去に消防関係で殉職された方の慰霊碑前で大きくなった樹木の剪定や周辺の環境整備を行いました。駐車場に集合した39期及び9名のサポート隊メンバーは、慰霊碑前で学校長の挨拶を受けた後、園芸学科講師の北村正隆先生から剪定についての注意事項などの説明を受け樹木剪定実習にかりました。午前中は、殉難者慰霊碑周辺の樹木(黒松、五葉松、ツツジ、キンモクセイ、モミジ等)の剪定を実施しました。



剪定後、慰霊碑の前に散らした葉や枝を整理し、すっきり綺麗になった慰霊碑に合掌して現場を後にしました。

課題学習「高島三九良入倉」に参加

特別講師 老人ホームやまゆりの里 三九良 善英氏・鎌田一彦氏

39期の課題学習活動は、5グループに分かれています。各グループは、それぞれテーマを決めて取り組んでいます。今回高島三九良入倉が取り組んでいる「朽木特別養護老人ホームやまゆりの里」(高島市朽木市場)の樹木剪定、除草等の作業に39期の7名が参加しました。5月24日、晴天に恵まれた琵琶湖の西側高島市朽木市場にある高島市役所朽木支所駐車場には、北回り(近江今津)と南回り(琵琶湖大橋)に分かれた39期メンバーが集合しました。午前に「やまゆりの里」の施設内見学、玄関前の樹木剪定と雑草の除草作業を行い、近くのとんく湯泉で昼食。午後は、城郭等歴史研究家・石田敏氏による「鶴街道と市場街及び興聖寺の足利庭園」を見学することでした。



樹木剪定や除草を終えてきれいになった「朽木特別養護老人ホームやまゆりの里」



旧朽木村の歴史探訪

厚食の後は、旧朽木村の歴史探訪です。地元名城郭等歴史研究家・石田敏氏を講師に、「鶴街道と市場街及び足利庭園」をテーマに、現地を歩きながら旧朽木村の歴史「原始、弥生、古墳、奈良、平安、鎌倉、室町、江戸」の各時代を資料を見ながら解説していただいた。その後、朽木の名刹・興聖寺の作庭を見ました。池の周りに座石を配し「曲水の宴」を行ったことは室町幕府との関わりが大きく影響しているとのこと。興聖寺での説明を受けた後に解散し、参加メンバーそれぞれが帰路につきました。

編集後記
平成30年5月31日発行の「第39期園芸学科通信第20号」をお届けします。今月の記事は、ポラントピアの日、39期3学科が合同で地域活動体験学習を、高取山ふれあい公園において実施したこと、校外での学習時作業を行うことは稀です。交流が図れたこと、作業を通じては、重要野菜を育てた時期のなか、松原先生は育て方の要点を教えてくれたことで、課題学習についてはグループを超えた交流ができたことと感謝しました。(佳)